



ぼうけんしよう！



ベンジーのふねのたび

マーガレット・ブロイ・グレアム さく・え わたなべ しげお やく 福音館書店 Eーグ

いぬのベンジーはりょこうがだいすきです。うちのひとたちは、なつにふねのたびをすることになりましたが、どうぶつはふねにのれません。ベンジーはメアリおばさんとおるすばんです。みんながたびにでたつぎのひ、さんぽにでたベンジーはくびわをはずし、いちもくさんにみなとにむかってかけぬけます。そしてうちのひとたちがのったふねにそっくりな、おおきなふねのタラップをかけあがりました。

スプーンおばさんのゆかいな旅

アルフ＝プリヨイセン 作 大塚 勇三 訳 学研 949ーP



夏^{なつ}のはじめ、スプーンおばさんはごていしゅと車^{くるま}で旅行^{りょこう}にでかけました。橋^{はし}をわたり、売店^{ばいてん}のわきに車^{くるま}をとめると、ごていしゅはソフトクリームを注文^{ちゅうもん}します。こぼさないようにおばさんのいる車^{くるま}のほうへあるいていくと、草むら^{くさむら}の中でガサゴソというのがきこえ、おどろいてソフトクリームをおとしてしまいます。ごていしゅは、ヘビがいるんだとおもいましたが、それはティースプーンくらいちっちゃくなってしまったスプーンおばさんでした。

ウェン王子とトラ

チェン・ジャンホン 作・絵 平岡 敦 訳 徳間書店 Eーチ



昔^{むかし}、深い森^{ふかもり}の奥^{おく}に、獵師^{りょうし}に子どもたちを殺^{ころ}されてしまったトラのおかあさんが住^すんでいました。トラは人間^{にんげん}が憎^{にく}くてたまらず、ある晩^{ばん}、村^{むら}をおそいます。知らせを聞いた王^しさまは兵^きを集^{あつ}めましたが、占^{うらな}い師^しは「トラの怒^{いか}りをしずめるにはウェン王子^{ウェンおうじ}をトラにさしだすしかない」といいます。白^ひがのぼると、王^{おう}さまはウェン王子^{ウェンおうじ}をつれて大きな森^{おおもり}へむかいました。

エルマーのぼうけん



ルース・スタイルス・ガネット さく わたなべ しげお やく 福音館書店 933-ガ

エルマーはとしとったのらねこから、どうぶつ島^{じま}でどうぶつたちにはたらかされている、かわいそうな子ども^このりゅうのはなしをききます。りゅうをすくいだすことにしたエルマーは、ふねがしゅっぱんするまえのばんにリュックサックににもつをつめこみ、みなとへいきます。そして、おかしななきごえをしたねこをばんにんがみているすきに、ふねの中^{なか}にしのびこみましました。

ソフィー・スコットの南極日記



アリソン・レスター 作 斎藤 倫子 訳 小峰書店 402-レ

ソフィーのパパは、オーストラリアから南極大陸^{なんきょくたいりく}に人^{ひと}や荷物^{にもつ}をはこぶ〈オーロラ・オーストラリス号^{ごう}〉の船長^{せんちょう}です。南極大陸^{なんきょくたいりく}につれていってもらえることになったソフィーは、港^{みなと}でパパの船^{ふね}をみてびっくりします。サッカーグラウンドがはいるくらい^{ひろ}広く、5かいだてのビルくらい^{たか}高い船^{ふね}だったからです。汽笛^{きてき}がなって船^{ふね}がうごきだし、1か月の南極旅行^{げつ なんきょくりょこう}のはじまりです。

こんとあき



林 明子 さく 福音館書店 E-ハ

こんはおばあちゃんに「あき」というなまえのあかちゃんのおもりをたのまれて、さきゅうまちからきました。こんとあきはいつもいっしょにあそんで、あきはだんだんおおきく、こんはだんだんふるくなりました。あるひ、こんのうでがほころびてしまいます。ふたりは、おばあちゃんにうでをなおしてもらうため、さきゅうまちにでかけることにしました。

精霊の守り人



上橋 菜穂子 作 偕成社 913-ウ

用心棒^{ようじんぼう}のバルサは、牛車^{ぎっしゃ}にのっていた第二皇子^{だいにおうじ}のチャグムが川^{かわ}へ転落^{てんらく}したのを助けました。お礼^{れい}に二ノ宮^{にのみや}の館^{やかた}にまねかれたバルサは、皇子^{おうじ}の母^{はは}の二ノ妃^にに息子^{きさき}の命^{いのち}をすくってほしいと頼^{たの}まれます。皇子^{おうじ}のからだになにかがやどり、父^{ちち}である帝^{みかど}から命^{いのち}を狙^{ねら}われていると知ったバルサは、妃^{きさき}の頼^{たの}みをひきうけ、皇子^{おうじ}を連れて館^{やかた}からにげだします。